

ふれあい通信 たまがわ

第325号 発行日 平成21年11月25日

〒963-1303 福島県郡山市熱海町玉川字阿曾沢11番地1
社会福祉法人太田福祉記念会 特別養護老人ホーム玉川ホーム
TEL 024-984-3836 FAX 024-984-3804



11月

玉川ホーム園長 佐藤 君子

新型インフルエンザが猛威をふるっており、休校や学級閉鎖をする小中学校も増加しております。行事等を含めた集会など、縮小せざるを得なかった学校も多く、学習や練習の成果を披露する場が少なくなり、残念なことでした。当ホームでも、感染防止に向けて職員一丸になって取り組んでいるところですが、このような緊急事態のときこそ落ち着いた対応をしていかなければならないと思います、利用者の皆様の健康管理と日々の生活の支援に努めております。

平年より早い雪の便りも届き、本格的な寒さがやってまいります。ご家族の皆様もご健康に留意され、健やかに過ごしてください。

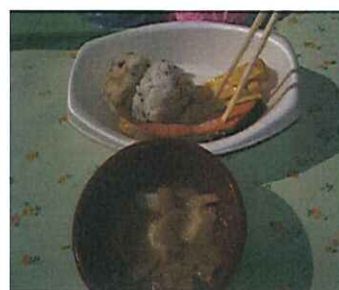


食べやすい大きさに...



あつあつの豚汁

美味しくできました



おにぎりと一緒に♪

十月二十三日金曜日、秋晴れの空の下、芋煮会を行いました。この日は、朝から利用者の皆さんが、腕によりをかけて豚汁を作りましました。心地よい風を感じながら豚汁の鍋を囲み、おにぎりや焼き魚、厚焼き玉子等を皆でいただきました。おいしい空気とおいしい料理に、皆さんの笑顔は、いつも以上に輝いていました。



天気も最高！



食欲の秋・スポーツの秋 ～ 南棟 余暇活動 ～



皆さん真剣な表情☆



十一月十一日水曜日、南棟ホールで第二回大運動会が行われました。大熱戦の紅白玉入れでは、白組が僅差で勝利。うれし涙を流す方もいらっしゃいました。職員による馬跳びリレーでは、利用者の皆さんから「頑張れ！」と、大きな声援が送られていました。総合成績は、何と紅白同点。今年の運動会も、皆さんの笑顔と大きな拍手で締めくくられました。

応援合戦！！



紅勝て！白勝て！



大熱戦の紅白玉入れ

手作りジュースで一息...



大運動会



やっぱり歌はいいね♪



十一月十八日水曜日、中央棟の皆さんがカラオケを楽しみました。皆さん、「さざんかの宿」や「りんごの唄」、「ラバウル小唄」等、懐かしい歌やお得意の歌を選曲し、自慢の喉を披露されました。

中央棟 ♪ カラオケ大会 ♪

参加した皆さんは、お互いに拍手をおくったり一緒に口ずさんだりしながら、楽しい時間を過ごされました。皆さん、「とっても楽しかったよ。またやろうね。」と、話していました。



懐かしい歌の数々

祝 K ・ K様百歳賀寿贈呈式

おめでとうございます



いつも優しい笑顔の梶原様



十一月十日火曜日、満百歳の誕生日を迎えられたK・K様の賀寿贈呈式が行われ、福島県知事、郡山市長、太田理事長より賀寿記念品が贈られました。K様は、「今日から〇歳また一から頑張るよ。」と話され、晴れやかな表情を見せてくださいました。出席した利用者の皆さんからは、「Kさん、素敵ね。私も長生きできるように頑張らないと。」との声があがっていました。K様、これからもますますお元気で、私たちの目標にいらしてください。

グループ紹介 ☆ 中央棟 猪苗代湖グループ ☆



楽しくボウリングゲーム♪



「がんばれ〜!!」

猪苗代湖グループのアピールポイント!!

108号室～111号室、113号室～117号室の利用者の皆様と、男性2名、女性8名の職員のグループです。

皆が集まったときには、昔の歌などを流し、それにあわせて利用者と職員一緒になって歌を歌ったり、体を動かしたりしています。

利用者の皆様が楽しく笑顔でいられるよう、心をこめてお手伝いさせていただきます。



皆揃って！ハイチーズ☆



よろしくお願いします！

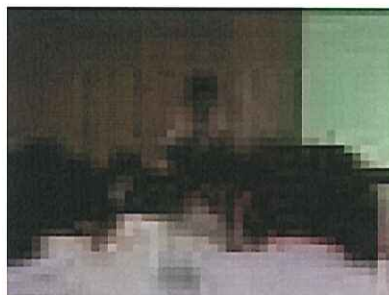
12月の予定

- 2日・16日(水) 生け花クラブ
- 3日・17日(木) 書道クラブ
- 9日(水) 誕生会
- 19日(土) 年忘れ会



編集後記

朝夕冷え込みが強まり、ついつい体を動かすことが億劫になってしまいます。行事をとおして元気になり、風邪などよせつけず、皆さんのパワーではね飛ばしましょう。しっかり食べて！しっかり睡眠！寒い冬よんと来いです。(S・H)



実践報告会



10月29日木曜日、実践報告会が行われ、来年2月に開催される「法人研究発表会」に向けた中間報告として、玉川ホーム「看取り介護について」、あたみホーム「ユニットケアの充実を目指して」をテーマに、それぞれ熱のこもった報告が行われました。

ユニットケアの報告からは、当ホームで取り入れられることも多く、利用者の皆さんの考え方を大切にするために、「聞く」とこと「待つ」ことの重要性などを再確認することができました。

今後も、法人全体で考え方や技術を高めあい、個別ケアの充実にむけて取り組んで参ります。